

受験番号	※			
職務経歴書(職務経験者)				
フリガナ	オタル タロウ	最終学歴	〇〇〇〇〇大学〇〇学部〇〇学科	
氏名	小樽 太郎	卒業年月	平成・令和 3 年 3 月	
職務経歴①		令和2年4月1日から令和7年3月31日までの職歴のうち、週30時間以上かつ1年以上継続して就業したものをもれなく順に古いものが上になるように記入（令和2年4月1日をまたいで働いている場合も記入。その場合、「職務経験期間」は令和2年4月1日以降の期間を記入）		
期 間	勤 務 先 (所在地の市町村名)	所属部署名・仕事内容	正社員／正社員 以外の別	職務経験 期 間
令和3年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	〇〇株式会社〇〇支店 (小樽市)	〇〇部〇〇課 工事設計・施工管理 ☒ 試験区分関係職務	☒ 正社員 ☐ 正社員以外	年 か月
令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 9 月 30 日	同上 (旭川市)	△△部△△課 工事設計・施工管理 ☒ 試験区分関係職務	☒ 正社員 ☐ 正社員以外	3年 6か月
令和 6 年 10 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日	医療法人〇〇会 (小樽市)	〇〇病院 用務員・施設管理 ☐ 試験区分関係職務	☐ 正社員 ☒ 正社員以外	年 0か月
土木技術者など試験区分に関係ある職務に勤務していた場合はチェックを入れる		同じ勤務先で所属部署の異動があった場合、段を分けるが、職務経験期間は通算して最後の段に記入		
		☐ 試験区分関係職務		か月
合計職務経験期間（A）				3年 6か月
【職務経験の計算について】 同一の勤務先において、勤務を開始した日（起算日）から翌年（翌月）の起算日に応答する日の前日までを1年（1月）として計算します。 同一の勤務先ごとに、1か月未満の端数は切り上げます。 (例) R3.3.10～R5.3.31＝2年0か月22日 → 2年1か月		介護、組合専従、懲戒等による休業期間を記入 (災害による休業、産前・産後休業及び育児休業は含まず)		
		職務経験は、試験区分関係職務に関するもののみ記入します。		除算期間
		年 月 日	年 月 日	年 か月
		年 月 日	年 月 日	年 か月
合計除算期間（B）				年 か月
通算職務経験期間（A－B）				3年 6か月
職務経歴②		「令和2年3月31日以前の職歴（在学中のアルバイトは除く。）」についてもれなく順に古いものが上になるように記入		
期 間	勤 務 先 (所在地の市町村名)	所属部署名・仕事内容	正社員／正社員 以外の別	職務経験 期 間
年 月 日 ～ 年 月 日	()		☐ 正社員 ☐ 正社員以外	年 か月
年 月 日 ～ 年 月 日	()		☐ 正社員 ☐ 正社員以外	年 か月

- ※のある項目以外について記入してください。
- 記入欄が足りない場合は、仕切線を入れ行数を増やすか、別紙（任意）に記入してください。
- 同じ勤務先において所属部署の変更があった場合は、段を分けて記入してください（職務経験期間は最後の段にまとめて記入）。
- 同じ勤務先における職務経験期間について、1か月未満の端数がある場合は切上げにより計算してください。
- 休業に係る除算期間について、1か月未満の端数がある場合は切捨てにより計算してください。